



2016年1月期  
第2四半期決算説明資料

**ベステラ株式会社**  
東証マザーズ(証券コード:1433)

# 本資料についてのご留意事項

---

- 当該資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営を取りまく様々な環境の変化により、予告なしに変更される可能性がございます。
- 本発表において提供される資料ならびに情報の中には「見通し情報」が含まれております。これらの情報は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実際には異なる結果となる不確実性を含んでおります。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- 2014年1月期第2四半期、2015年1月期第2四半期、2016年1月期第2四半期の財務数値につきましては、監査法人の四半期レビューおよび監査を受けたものではありません。

# 目 次

---

会社概要	4
決算概要	12
成長戦略	20

---

会社概要	4
決算概要	12
成長戦略	20

1

## つくった人には壊せない

私たちは、「壊すときには造ったときの逆をやればよい」という思い込みに『NO!』と言うことからスタートしました。建造のプロセスを単に逆にたどるのではなく、まったく新しい視点でプラント解体を発想する。そして、その発想を実際の工事を通じて検証をおこない、新たな技術・工法として確立し、更には特許工法という形で完成させてきました。

2

## プラント解体に特化したオンリーワン企業

当社は約40年間、製鉄、電力、ガス、石油などの高い安全性と高度な技術力を必要とする鋼構造物のプラント解体工事に特化して、事業を展開してきました。プラント解体工事において、必須と言える特定化学物質、PCB、アスベスト、ダイオキシン、土壌汚染などの環境関連対策工事の実績を積み重ねています。

基幹産業である重厚長大なプラント解体のリーディングカンパニーとして、こうした社会的ニーズにお応えすることで、自らの責任を全うし、社会貢献に取り組んで参ります。

# 企業理念、行動規範

## 企業理念

柔軟な発想と創造性、それを活かした技術力により地球環境に貢献します。

## 行動規範

プロとしての責任を果たします。

我々は常に新しい技術を生み出し、「安全を何よりも優先」し、「より早く、より安く、より安全に」を合言葉に、さらに安心を加えて、お客様に提供します。



ガスホルダー(リンゴ皮むき工法)



火力発電所(リンゴ皮むき工法)

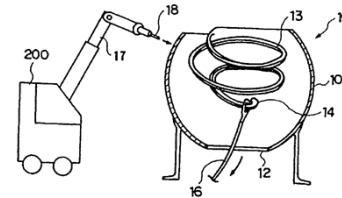
# 会社概要

商号	ベストセラ株式会社 / 日本語表記 BESTERRA CO.,LTD / 英語表記
事業内容	プラント解体工事、その他関連事業
所在地	本社：東京都墨田区江東橋四丁目24番3号 千葉事務所：千葉市中央区川崎町1番地 西日本事務所：広島県福山市南手城町三丁目10番27号
設立	1974年2月20日
資本金	344,920,000円(2015年9月2日現在)
代表取締役	吉野佳秀
従業員数	44名(2015年9月2日現在)

# 会社の沿革



- 2015年9月 東証マザーズ上場 ●
- 2015年1月 プラント構造計測に特化した3D計測サービスに参入 ●
- 2013年1月 人材不足に対応するため人材サービスに参入 ●
- 2010年4月 ロボット解体「りんご☆スター」開発 ●
- 2007年9月 火力発電所等の「ボイラの解体方法」の特許取得 ●
- 2004年11月 特定建設業許可取得 ●
- 2004年7月 「リンゴ皮むき工法」の特許取得 ●
- 1974年2月 「ベストセラ株式会社」設立 一般建設業許可取得 ●



本社ビル





# ビジネスモデル(事業系統図)

- 1** 大型プラント解体の要の役割  
 エンジニアリング(提案・設計・施工計画)  
 マネジメント(監督・施工管理)
- 2** 実際の解体工事は、外注先が行い、  
 当社は主に現場の監督・施工管理を行います。
- 3** したがって、プラント解体の工法・技術を  
 コア・コンピタンスとしています。  
 (持たざる経営)  
 工事用重機や工事部隊を保有しません。  
 →資産保有リスクを回避  
 材料などの仕入・生産取引は存在しません。  
 →在庫リスクを回避



# プラント解体トータルマネジメント

プラント解体の事前調査から解体、廃棄物処理までを一貫して行うプラント解体トータルマネジメントを行っています。

1	調査	・行政、自治体への法制対応
2	各種申請 解体見積	・独自の特許工法の提供 ・最適な工事設計 ・多様な工事に対する見積書の作成
3	工事施工	・施工管理：現場重視の戦略、当社従業員が常駐 ・最適分担：優良な協力会社と連携 ・最適分担：工事種類に応じた工事分担を決定
4	廃棄物処理 補修・改修工事	・情報網：産業廃棄物処理会社との連携 ・補修、改修工事のフォロープレゼン



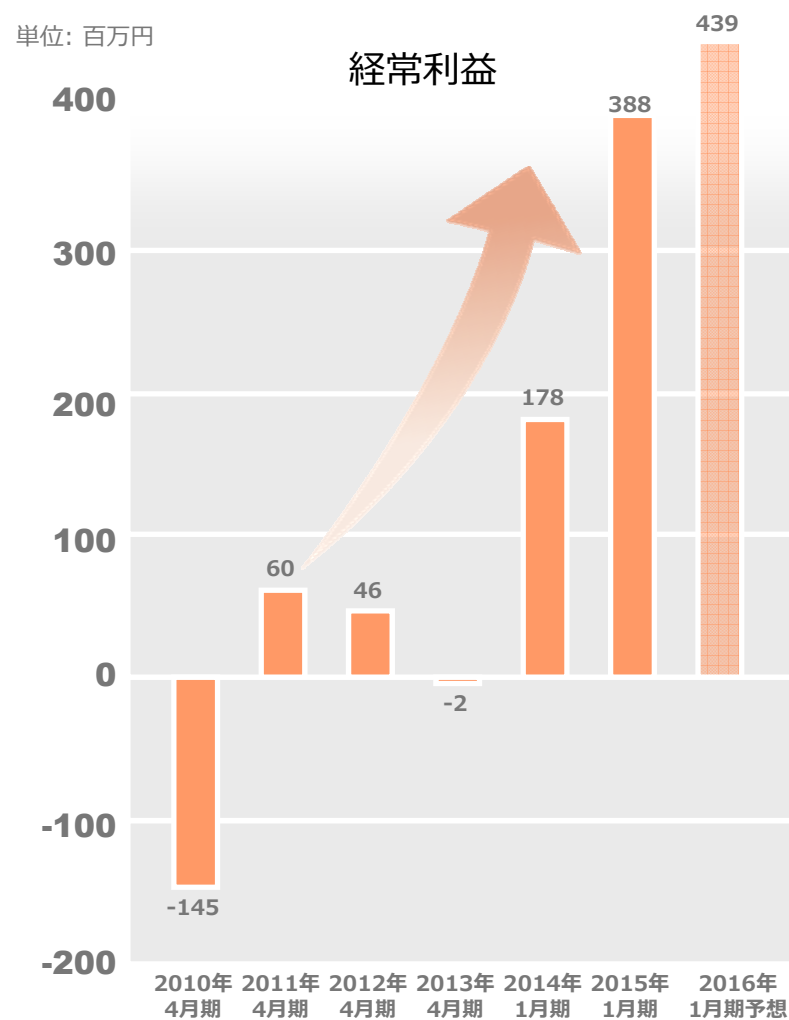
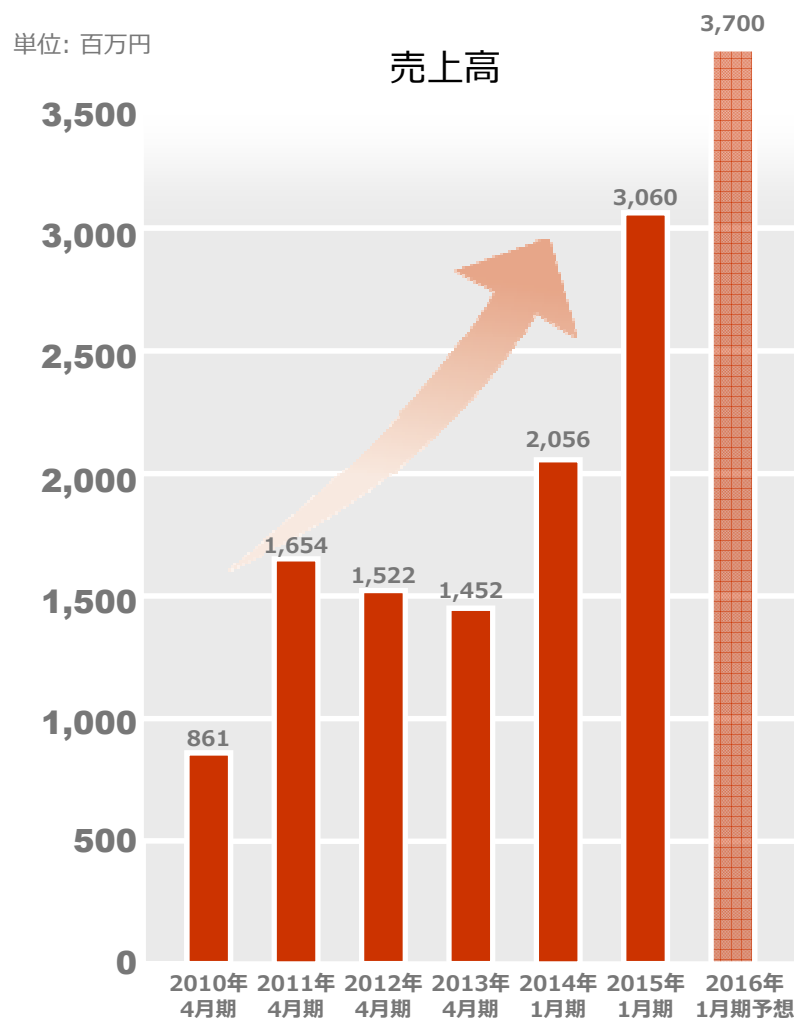
顧

客

# 業績の推移

2014年1月期以降は売上高が急成長し、利益成長も加速するステージに入っています。

※ 2014年1月期は9カ月の数値



---

会社概要	4
<b>決算概要</b>	<b>12</b>
成長戦略	20

# 損益計算書: 第2四半期 (2016年1月期)

着実な工事实績の積み上げで増収増益を達成

売上高：前年同期比99.4%増 (931百万円増)

経常利益：前年同期比10.4%増(26百万円増)

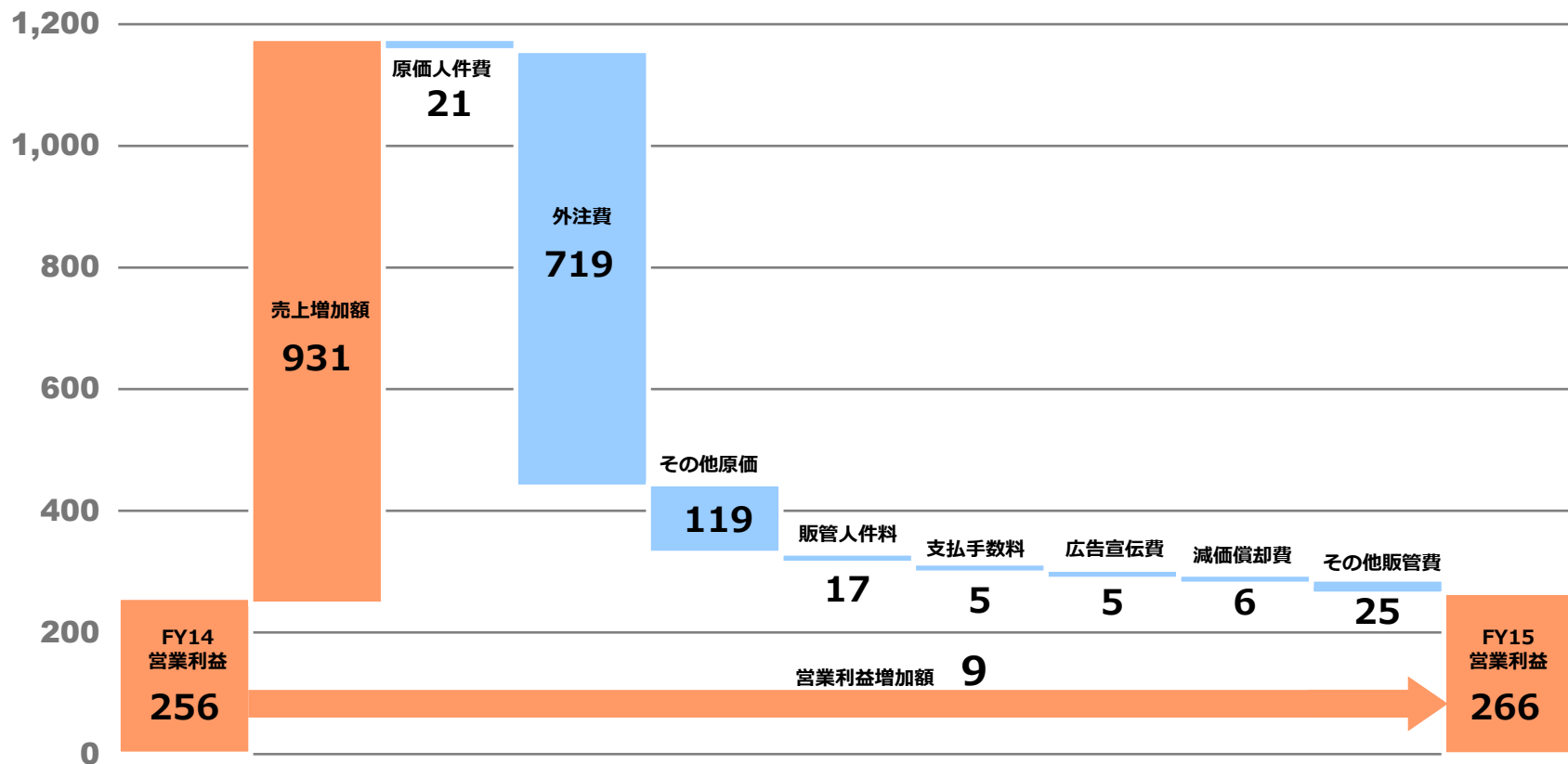
単位: 百万円

	2016年1月期 第2四半期累計	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	1,867	-	936	931	+99.4%
売上総利益	441	23.6%	372	68	+18.4%
営業利益	266	14.3%	256	9	+3.9%
経常利益	285	15.3%	258	26	+10.4%
四半期純利益	183	9.8%	158	25	+15.8%

# 営業利益の増減要因分析

営業利益は前年同期比9百万円の増額となりました。主な要因は売上増加に伴う売上総利益の増加68百万円、販売費一般管理費の増加による58百万円となっております。当第2四半期の売上総利益率は23.6%となっております。

単位: 百万円



# 販売費及び一般管理費：第2四半期（2016年1月期）

事業拡大により販管費が増加  
前年同期比50.7%増（58百万円増）

単位：百万円、%

	2016年1月期 第2四半期累計	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	51	33	17	52.7%	事業拡大のための 人員増加
支払手数料	12	6	5	90.9%	上場のための費用 増加
広告宣伝費	5	0	5	—	環境展への出展費 用等の増加
減価償却費	10	3	6	210.3%	3D計測機器及び 溶断ロボット等
その他	94	71	25	31.4%	採用費等の増加
合計	174	115	58	50.7%	

# 貸借対照表:第2四半期末(2016年1月期)

単位: 百万円

	2015年1月期 第4四半期末	2016年1月期 第2四半期末	増減額	主な増減要因
流動資産	2,089	1,628	▲461	大型工事の完了による 未成工事支出金および 完成工事未収入金の減 少によるもの
(うち現金預金)	598	448	▲149	
固定資産	385	398	12	3D計測機器等の購入 によるもの
流動負債	1,217	576	▲641	未成工事受入金の減少 によるもの
固定負債	135	138	2	退職給付引当金の増加 によるもの
純資産	1,122	1,312	189	四半期純利益の計上によ る利益剰余金の増加
総資産	2,475	2,026	▲449	



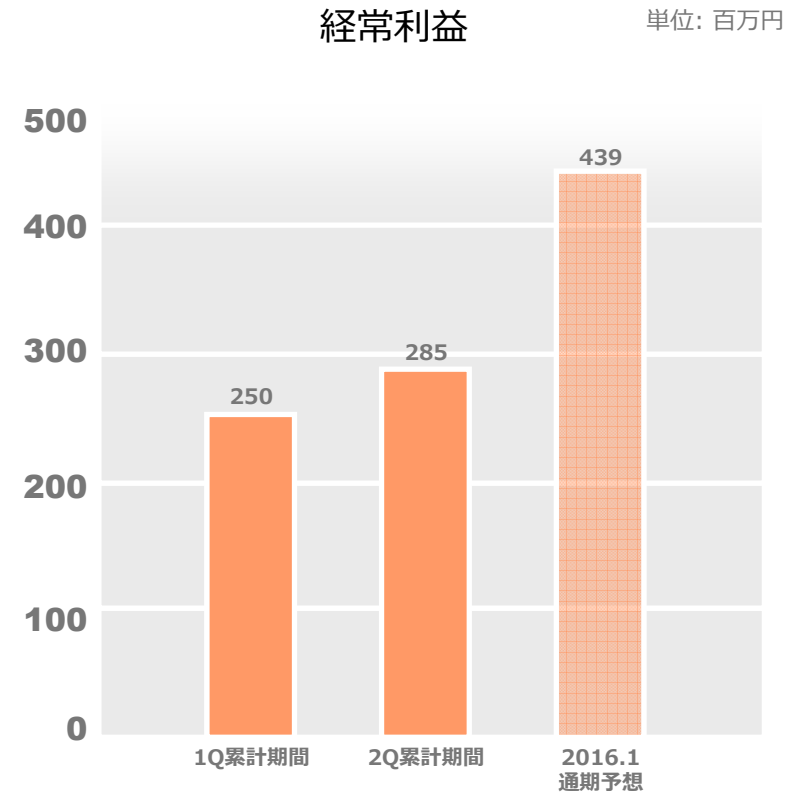
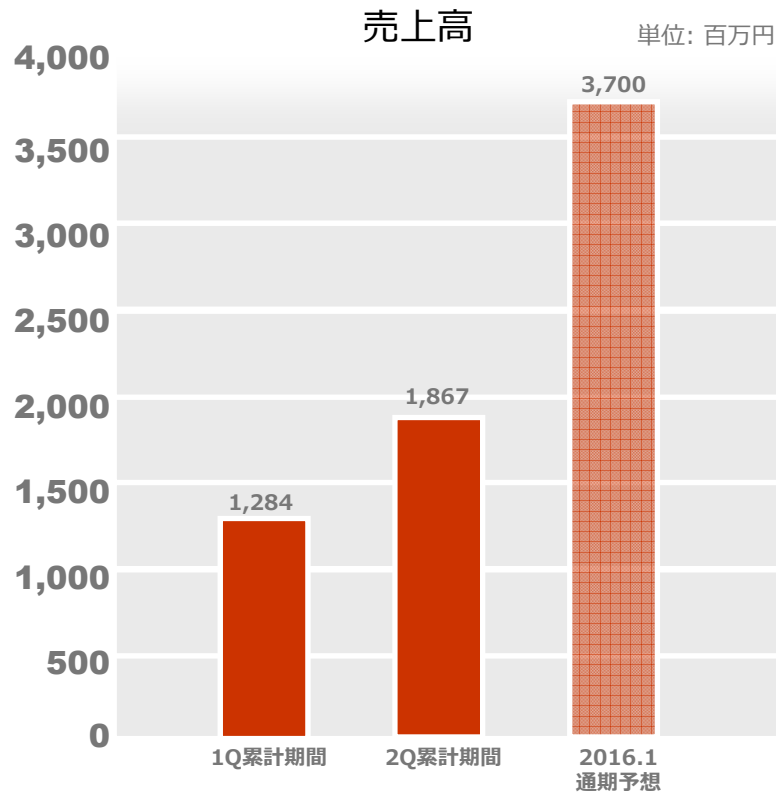
# 業績進捗状況：第2四半期（2016年1月期）

単位：百万円

	2016年1月期 第2四半期累計	2016年1月期 通期予想	進捗率
売上高	1,867	3,700	50.5%
売上総利益	441	862	51.2%
営業利益	266	431	61.9%
経常利益	285	439	65.0%
当期（四半期）純利益	183	254	72.1%

# 四半期累計の推移

通期業績予想達成に向けて順調に進捗しています



当社の売上高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。第1四半期および第4四半期に計上される割合が高くなる傾向があります。

## 受注状況: 第2四半期 (2016年1月期)

- 受注工事高、受注残高とも順調に推移しております。
- 当四半期末は過去最高額の受注工事高および受注残高となりました。

単位: 百万円

	2014年1月期 第2四半期 累計期間	2015年1月期 第2四半期 累計期間	2016年1月期 第2四半期 累計期間
期首繰越工事高	1,031	1,628	1,642
受注工事高	1,765	1,773	3,310
完成工事高	680	913	1,834
期末繰越工事高 (受注残高)	2,116	2,487	3,118

---

会社概要	4
決算概要	12
<b>成長戦略</b>	<b>20</b>

# 当社の強み

1

## 優良な顧客基盤

製鉄、電力、ガス、石油等の大手企業のエンジニアリング子会社を中心とした優良な顧客基盤を構築しています。

2

## 豊富な工事实績に基づく効率的解体マネジメント

約40年間のプラント解体工事实績に基づくプラント解体トータルマネジメントを提供しています。

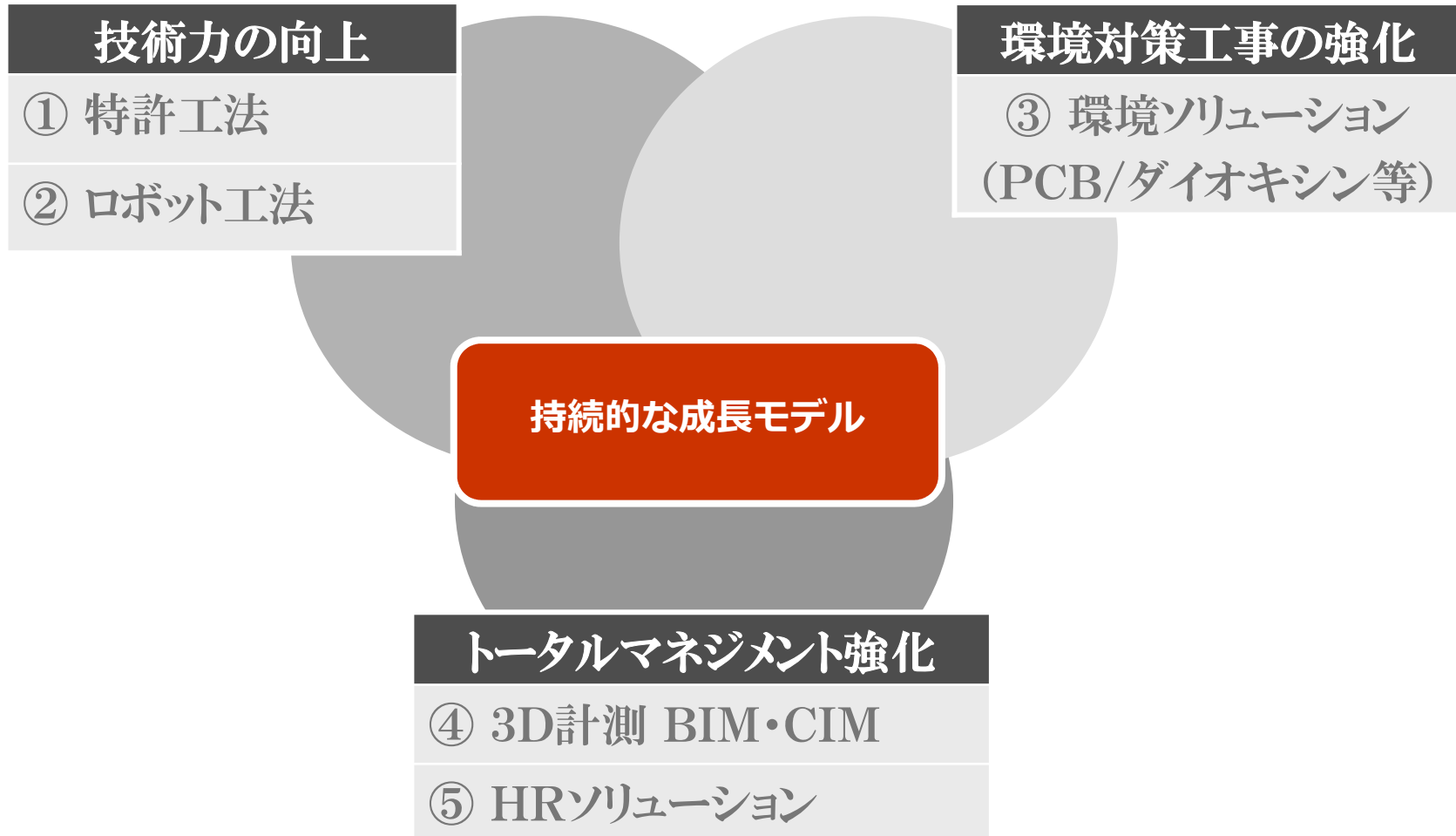
3

## 特許工法等の知的財産

環境対策工事等に根ざした様々な技術やノウハウは、顕在的または潜在的に知的財産としての強みを持っております。特筆すべき知的財産は、解体工事会社として他社に類のない数を保有する特許工法です(取得済14件、申請中5件)。また、発生材の再資源化に関する豊富な知識も有しています。

# 成長戦略：持続的な成長モデル

専門性の高い技術を提供し、事業競争力を高めていきます。

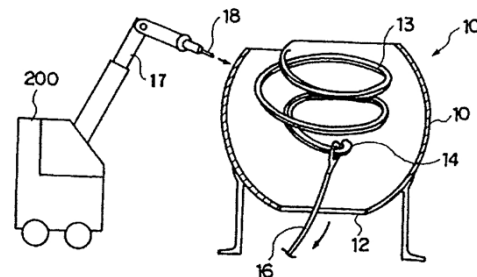


# 技術力の向上

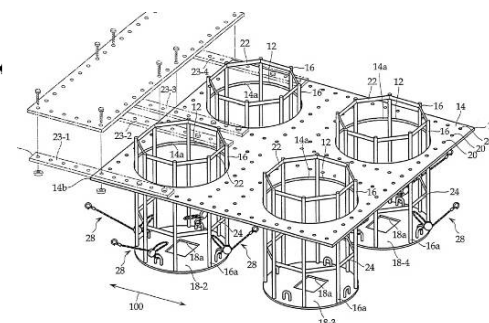
## ① 特許工法

特許工法を使用した解体方法を提案し、実用化に繋げていきます。

取得済み特許	申請中
大型球形貯槽の解体方法及びこれに用いるジャッキ機構	集合型煙突解体用足場装置およびその装置を用いた集合形煙突の解体方法 (国際出願)
大型球形貯槽の切断解体方法 (リンゴ皮むき工法) ※図1	大型貯槽の解体方法 (リンゴ皮むき工法の改良特許)
搭状構築物の解体工法及び装置	発電用風車の倒し方法 (国際出願)
煙突解体用足場装置及びその装置を用いた煙突解体方法 ※図2	Method for disassembling a boiler
ボイラの解体方法	
ボイラ及び支持構造物の解体方法	<b>共同出願 申請中</b>
熱風炉の蓄熱炉の倒し方法	磁気吸着車両の群移動体 (ロボット群龍)
鉄塔支持形煙突構造物の倒し方法	
ボイラ解体方法	
ボイラの解体方法	
大型貯槽の切断解体方法	
大型貯槽の解体方法	
ゴライアスクレーンの解体方法	
H鋼支持システム及びそれを用いた建造物の解体方法	



※図1 大型球形貯槽の切断解体方法 (リンゴ皮むき工法)



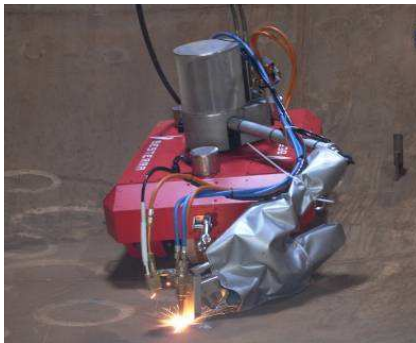
※図2 煙突解体用足場装置及びその装置を用いた煙突解体方法

# 技術力の向上

## ② ロボット工法

さらなる安全性向上のため、溶断ロボットを開発し、工事実績を重ねています。

- ・ 「りんご☆スター」の新アタッチメント開発による用途拡大
- ・ 東京工業大学との産学連携による「群龍」(群移動体型ロボット)の開発



りんご☆スター



群龍





# 環境対策工事の強化

## ③ 環境ソリューション

屋外屋内を問わず、**無火気工法・準無火気工法**を得意としています。切断、小切り施工可能です。

モーター焼きつき対策や刃を再生利用するなどの工夫で業界常識を超える厚みを切る事が可能となりました。



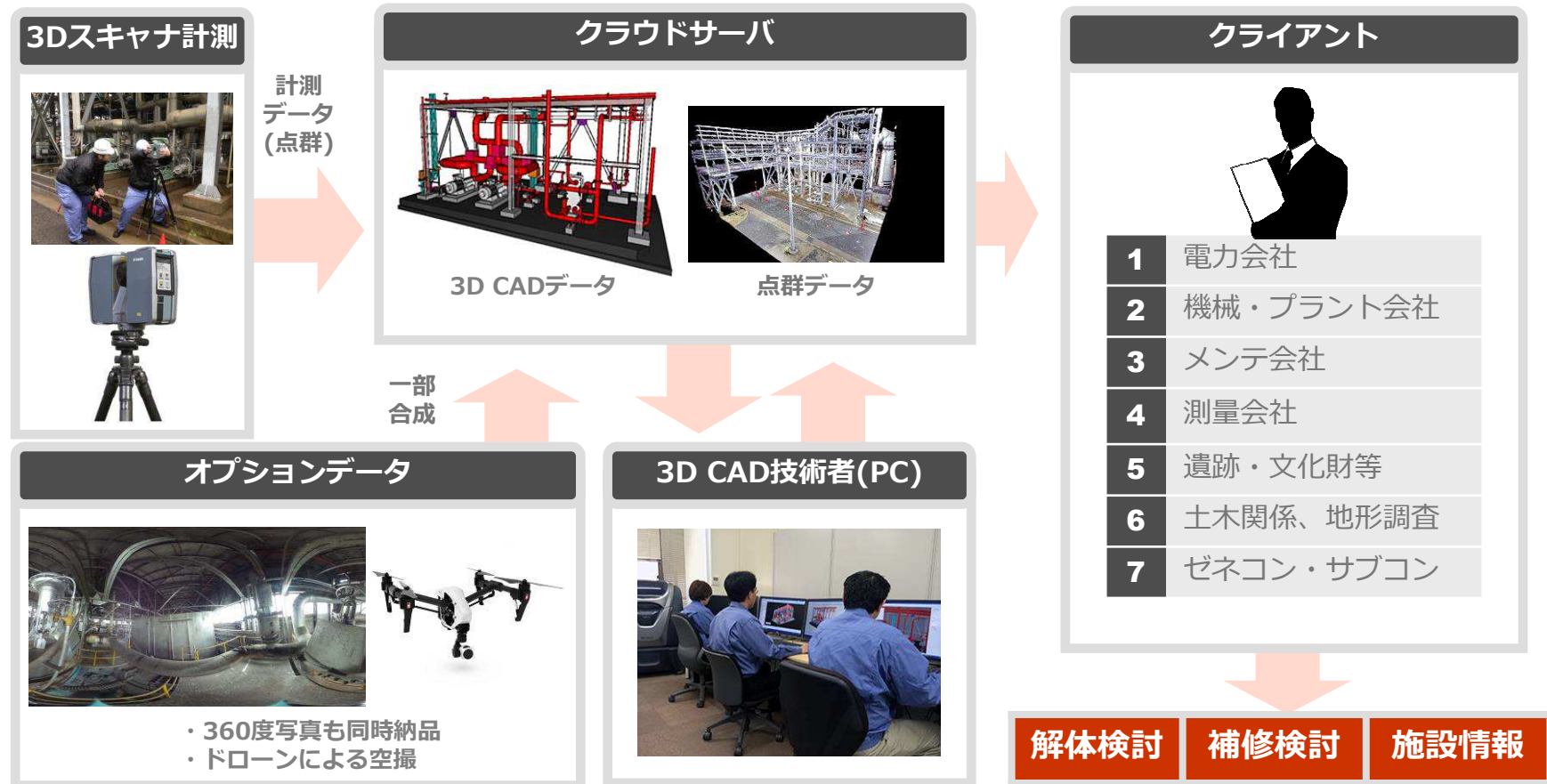
**当社による分割・解体までの工程**

<p><b>1 現地確認</b></p> <p>経験豊かなスタッフが、現地を確認・調査いたします。 ※狭小な場所・地下・管理された部屋など、あらゆる場所から撤去する方法を現地にて考察します。</p> 	<p><b>2 計画・お見積もり</b></p> <p>お客様のご要望を法令に沿って、弊社専門スタッフが検討し、的確なご提案・お見積もりをご提出いたします。</p> 	<p><b>3 解体養生</b></p> <p>必要に応じて「密閉化」などの措置を講じます。 ※法令順守かつ環境対策も同時に行います。</p> 
<p><b>4 事前・付帯作業</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>油抜き</li><li>遮断機ガス抜き (FS-6)</li><li>閉所での吊治具仮設</li><li>通路養生 etc</li></ul> 	<p><b>5 分割・解体作業 (運搬用容器への封入作業)</b></p> <p>弊社では一切の火気を使わない工法で迅速かつ安全に解体が行えます。</p> 	

# トータルマネジメントの強化

## ④ 3D計測 BIM・CIM

新技術も積極導入することで、情報の「見える化」、「共有化」を推進。トータルマネジメントの強化へ繋げていきます。



# トータルマネジメントの強化

## ⑤ HRソリューション

技術労働者不足に対応することを新たな事業機会と捉え、人材サービスを展開します。

### 背景

少子化、技術系人材の獲得難

### ソリューション

- ① BTスタッフ：人材派遣・紹介及び紹介予定派遣
- ② 海外人材の活用：韓国の大学新卒者など
- ③ BTアカデミー：施工管理職の育成

